

登録コード	TSH12600	開講年度	2026				
授業科目	情報処理演習					担当教員	田中 清
英文授業名	Information Processing Tutorial 1					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	電子情報システム工学分野 修士学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					修士研究の課題を知り、研究分野における位置付けを理解しており、それを説明できる。 修士研究に関連する先行研究を調査し、その特徴を理解しており、それを説明できる。	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					修士研究の課題を解決するための方法を考案・提言し、実験等により有効性を検証した結果を資料にまとめ、説明できる。	
(2)授業の概要	修士研究で求められる上記 ～ の到達目標を達成するために、本演習では以下を行う。 研究課題に関連する基礎知識を学び、その応用や発展についても理解する。 研究課題に関連する先行研究を文献や参考資料等から調査し、資料としてまとめる。この際、これらの方法の利点と欠点、残されている課題を明らかにする。 ～ に基づき、課題解決に向けたアプローチを考案、設計して提言する。						
(3)授業計画	上記 ～ に関する進捗報告（プレゼンテーション）を、グループミーディングおよび定期的に行うゼミ（研究室定例報告会）で行い、教員および学生間の集約的なディスカッションにより、方向性や内容の確認を行い、これをその後の研究遂行に反映する。これを反復的に行い、研究内容のブラッシュアップを図る。						
(4)成績評価の方法	グループミーディングおよび定期的に行うゼミ（研究室定例報告会）での発表内容から理解度とプレゼンテーション能力を評価する。						
(5)成績評価の基準	秀：90点以上（研究課題とその位置付け、関連する先行研究を十分に理解しており、課題を解決する優れた方法を考案し、その有効性を検証している） 優：80点以上90点未満（研究課題とその位置付け、関連する先行研究を理解しており、課題を解決する方法を考案し、その有効性を検証している） 良：70点以上80点未満（研究課題とその位置付け、関連する先行研究の一部を理解しており、課題を解決に向けた方法を検討している） 可：60点以上70点未満（研究課題とその位置付け、関連する先行研究の理解を進め、課題解決に向けた方法を模索している） 不可：60点未満（研究課題とその位置付け、関連する先行研究を理解しておらず、課題解決に向けた道筋を見出せない）						
(6)事前事後学習の内容	毎回の進捗報告（プレゼンテーション）には、十分な時間をかけて事前事後学習する必要がある。 進捗報告を行うにあたり、現在取り組んでいる課題の進捗状況をスライドにまとめる事前準備を行い、準備した内容をグループミーディングおよび定期的に行うゼミ（研究室定例報告会）の場で発表する。 その際、教員および学生間の集約的なディスカッションの中で指摘・示唆された事項について方向性や内容を確認する事後学習を行い、これをその後の研究遂行に反映する。これを反復的に行い、研究内容のブラッシュアップを図る。						
(7)履修上の注意	情報特別実験の内容と連動して検討を進める。 十分な準備をして一回一回のグループミーディングおよび定期的に行うゼミ（研究室定例報告会）に臨み、その効果と密度を上げる工夫を行うこと。						
(8)質問、相談への対応	グループミーディングおよび定期的に行うゼミ（研究室定例報告会）の中で行うことを基本とするが、必要により随時教員室に相談に来ること。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						